震災に負けずチャレンジショップ、ＦＡＸ宅配とショッピングバスに取り組む

日　野　町　商　工　会

機関名	日野町商工会		
所在地	鳥取県日野郡日野町根雨３４１－２		
電話番号	０８５９－７２－０２４９		
地域概要	(1)管内人口　４千５百人	(2)管内商店街数　２　商店街	
事業の対象となる商店街の概要	(1)商店街数　２　商店街	(2)会員数　４２　商店	
	(3)空店舗率　１７　％	(4)大型店空き店舗　０　店	
商店街の類	1.超広域型商店街　2.広域型商店街　3.地域型商店街　4.近隣型商店街		

【事業名と実施年度】

平成 12 年度	駐車対策事業	ショッピングバスの運行
	総事業費	8,000 千円
	複数事業の組み合わせ	チャレンジショップ、ファックス宅配、イベント
	総事業費	20,000 千円

【事業実施内容】

１．背景

社会環境や商業環境が変化するなか、大型店等の地域間競争が激化する一方、当地域での商店街は商店主の高齢化や後継者不足などに伴う空き店舗の増加、来街者の減少、売上の減少などが追い討ちをかける形で危機的状態に直面している。

こうした傾向は、今後も続き、さらに拍車がかかることが予想され 21 世紀に向けて、日野町の中心商店街、根雨商店街は大きな岐路に立たされている。

このことから、平成 10 年度に策定された『日野町中心市街地活性化基本計画』、平成 11 年度の『日野町ＴＭＯ構想』に基づき、商業者自らが行動を起こして、より一層消費者のニーズにあった地域密着型の商業展開を目指す必要があった。

また、これからの高齢化社会・女性の社会進出を見据えた対応が必要な事から、新しい商業サービス機能の導入をはじめ消費者ニーズにあった業種・業態の店舗の導入等、個性ある店づくり、商店街づくりに取り組むことが求められた。

２．事業内容

（1）チャレンジショップ事業

２ヵ所の空き店舗を活用して新規開業を促すチャレンジショップの実験的事業を行った。

１ヵ所は、元縫製工場(以前は米倉庫)を活用した物品販売のチャレンジショップ「出雲街道根雨宿一番館」。２ヵ所目は、元酒小売商店を活用したそば道場「出雲街道根雨宿二番館」として開業した。いずれも宿場町にふさわしい雰囲気の店舗に改装した。

しかしながら、平成 12 年 8 月 1 日より事業に取りかかり 9 月末に工事が完了、開店準備を整え 10 月 6 日午後 2 時にオープンの準備中の午後 1 時 30 分頃「鳥取西部地震」が発生し、２ヵ所とも陳列した商品はもとより、店舗にも大きな被害を受けた。その後店舗の復旧に２ヶ月を要し 11 月末復旧工事が完了、商品被害を被った出店予定者との協議を重ねた結果、全員が意欲的に再オープンに参加することが決定し、12 月 8 日再オープンした。また、二番館についても被災したが「そば道場」として一番館と同時開店にこぎつけることができた。

（改造前）　　出雲街道雨宿一番館　　（改造後）

１）出雲街道根雨宿一番館　(物品販売)

①建物　構　造　　木造土蔵づくり瓦葺き平屋建て

　　種　類　　工　場

　　床面積　　127.27 平方メートル

②出店者と商品内容：下記６人（社）が出店した。

○出店した業種
(1)呉服・衣料品・布団・装飾品、入浴剤等
(2)手作り木工芸品等
(3)リサイクル商品等
(4)手工芸品
(5)金持ちグッズ・特産品・駄菓子類等
(6)日本陶器類・日本茶用・菓子等

③経費負担

店員は共同して１人雇用した、その人件費及び水道光熱費はブース割りとして負担(１ブース３名はその３分の１)、イベントブースは、㈱まちづくり日野が負担、管理した。

④イベントの開催：下記のイベントを開催
・１２月　オープニングイベント(2 日間)
　　注縄づくり教室
・１月　　タコづくり教室、
　　竹馬づくりと試乗教室
・２月　　中国マジックショー、
　　雛人形づくり教室
・３月　　金持ち鍋、ばばちゃん鍋無料提供、
　　お茶会

オープニングイベント

２）出雲街道根雨宿二番館　(そば道場「たたらや」)
①建物　構　造　　木造瓦葺き二階建て
　　種　類　　店舗、住宅、炊事場
　　床面積　　一階 69.75 ㎡、二階 42.31 ㎡、炊事場　10.90 ㎡、
②店舗の状況　　一階と炊事場部分を改装
　　そば食堂、そば道場、厨房、配膳室
③営業内容
・商品内容　　ざるそば、おろしそば、かまあげそば、そばがき、そば道場
・営業時間　　食　事　　午前 11 時 30 分から午後 2 時
　　そば打ち体験　　午後 2 時から
　　定休日　　毎週水曜日
④経費負担　　従業員１名雇用人件費、水道光熱費、駐車場料金、通常消耗品等、
　　及び什器備品類のうち補助対象以外のものの負担
⑤イベント　　そば券発行、そばの宅配

（２）ファックス宅配事業

新しい地域商業サービス機能として高齢者のニーズに応えるため、ファックスによる商品の受注・宅配による商品の受け渡しなど、家庭にいながら商品の購入が出来る実験的事業を行った。

商工会にファックスセンター機を設置し、各家庭に 200 台の家庭用ファックスを設置し 10 月 6 日の空き店舗対策、チャレンジショップのオープンにあわせて事業開始するため、前日 5 日に第 1 回目のファックス配信を行い、翌日 6 日の午前 8 時 30 分より受注の受付を開始した。

ところが、チャレンジショップのオープンセレモニーの準備に追われていた午後 1 時 30 分頃、マグニチュード 7.3、震度６強という鳥取県西部地震が地元日野町と隣の西伯町の境界付近で発生、チャレンジショップも相当な被害をうけ開業できない状態となった。この地震による被害は、町内はもちろんのこと、近隣市町村においても甚大であった。

その様な状況の中、このファックス事業はいち早くファックス事業加入者に生活情報として地震情報を伝えるため、日野町災害対策本部等より情報を入手、情報を提供した。

そして 12 月 7 日、ファックス受注・宅配事業を再スタート 12 月 8 日のチャレンジショップの再開業にあわせて受注を開始した。

（3）ショッピングバス運行事業

根雨商店街は道幅が狭く駐車場も不足しており、客離れが進んでいる。また、国や、大手企業の相次ぐ出先の整理統合による廃止、日野病院の郊外への新築移転など、このままでは商店街が大きな打撃を受けることが予想されていた。

このため、移転する日野病院と、町役場の駐車場を活用し、２つの駐車拠点による、パークアイランド方式の駐車対策として、商店街の循環バスの運行に取り組むことにより、買い物客を誘導し、活性化を図ることを目的にこの事業に取り組むことにより、買い物客を誘導し、活性化を図ることも目的にこの事業に取り組んだ。

ファックス宅配サービスのチラシ

１）バスの概要

①小型バス　ショートボディ、26 人乗り（以下はバスの改造ポイント）

・座席を取り外し、入り口を広く、14　人掛けとした。

・入り口の補助ステップ(自動式) 2 ヵ所取り付け段差を狭く乗降をし易くした。

・座席横に取っ手をつけ、上部にはパイプ手すりをつけ立ち席の利便を図った。

・降りる人のためブザーをつけた。

・外部には「出雲街道の宿場町」のイラストを描いた。

２）運行経路、回数

町役場前 7 時 45 分発～商店街～日野病院駐車場 7 時 55 分着

（以後、日野病院駐車場 7 時 55 分発～商店街～町役場前 8 時 10 分～日野病院駐車場を巡回した）

1 日 15 回(約 25 分間隔)、30 便運行し、16 時 30 分に終了した。

ショッピングバス

【　効　果　】

（1）チャレンジショップ事業

１）出雲街道根雨宿一番館

①平成 13 年４月以降に関しては１名を除き店舗を出店している

②売上状況　　平成 12 年 12 月 8 日～平成 13 年 3 月 31 日

	売上合計額	備　　考
12 月	879,285 円	営業日 20 日 平均売上日額 43,964 円 レジ通過人数 1,000 人
1 月	446,794 円	営業日 24 日 平均売上日額 18,616 円 レジ通過人数 1,000 人
2 月	390,616 円	営業日 26 日 平均売上日額 15,023 円 レジ通過人数 1,000 人
3 月	559,560 円	営業日 31 日 平均売上日額 18,050 円 レジ通過人数 1,000 人
合計	2,276,255 円	営業日 101 日 平均売上日額 22,537 円 レジ通過人数 3,546 人

(出店者の意見)

・商売は初めての経験であったが自分の作品が売れることの喜びを実感した。

・サラリーマンの長男が商売の面白味を感じてくれて、後継者となる可能性が出た。

２）出雲街道根雨宿二番館

①売上状況平成 12 年 12 月 8 日～平成 13 年 3 月 31 日

	売上合計額	備　　考
12 月	604,700 円	営業日 19 日 平均売上日額 31,826 円 月入店客 740 人 そば打ち体験者 9 人
1 月	379,240 円	営業日 22 日 平均売上日額 17,238 円 月入店客 474 人 そば打ち体験者 22 人
2 月	488,480 円	営業日 24 日 平均売上日額 20,353 円 月入店客 600 人 そば打ち体験者 18 人
3 月	670,470 円	営業日 26 日 平均売上日額 25,787 円 月入店客 820 人 そば打ち体験者 16 人
合計	2,142,890 円	営業日 91 日 平均売上日額 23,548 円 月入店客 2,634 人 そば打ち体験者 65 人

・開店当初の 12 月と暖かくなった 3 月は売り上げ良好、1 月、2 月はやや悪いが、総合的にはまずまずといえる。

・顧客層も新聞、テレビでの宣伝効果と道場主の個人的つながりにより町外客が増えつつある。町の活性化にも貢献できる見通しがついた。

（２）ファックス宅配事業

１)受注状況:平成 12 年 10 月 5 日～平成 13 年 3 月 27 日の間で 9 回のＦＡＸ送信をし、注文者数 64 人、金額 211,899 円の受注を得た。

２）鳥取西部地震(マグニチュード 7.3　震度６強)の中で、このファックス事業はいち早くファックス事業加入者に生活情報として地震情報を伝えるため、日野町災害対策本部等より情報を入手、情報を提供し加入者に喜ばれた。「一人暮らし・高齢者への連絡」「ゴミ収集とガレキ処分」「建物の応急危険度判定制度紹介」等について計、17 回ＦＡＸを送信した。

３）アンケート調査結果からは、宅配便の利用率は 26.2%で 70.5%の世帯は利用していなかった。生活情報については 49.2%が情報をいち早く知ることが出来て良かったと答えた。

（３）ショッピングバス運行事業

１）乗車人員：12 月～3 月の間で計 5,566 人が利用（95 日運行、平均乗車人員 58.6 人）

２）乗車人員は月毎に増加しており、継続運行を望む声も高い。

３）商店街への影響は目に見えないが、主な商店を聞き込み調査した結果、「病院帰りの客が買い物に立ち寄る姿が見うけられるようになった」との回答が得られた。

【課題・反省点】

（1）チャレンジショップ事業

1）出雲街道根雨宿一番館（出店者の意見）

①売り上げに対して水道光熱費、人件費等の経費がかかりすぎて経営的には苦しい。

②経費がかかりすぎるため、引き続き出店するには、もうひと工夫必要である。

③一人で１ブースを持つことは経費的に無理がある。制作費は自分で作るので抑えられるが、材料費は実費が必要。町の人がもっときてくれる工夫が必要。

④結果的に地震で被災して自店での営業が不可能となったのをここである程度カバーできた。

⑤総括として、独自に店舗を出すことに比べれば経費は少なくてすむが、今後売り上げをどう上げて行くか。テレビ放映、新聞記事等、一過性の宣伝はそれなりの効果はあったが今後、町外客をどう引き込んでいくか、店頭看板、案内看板、案内地図、人集めのイベントの開催、観光客の引き込みなど総合的まちづくりについて検討する必要がある。

2）出雲街道根雨宿二番館

そば職人の後継者に付いては、候補者２名と交渉しているが確約に至っていない。

（2）ファックス宅配事業

1）加盟店の募集、拡充を図ること。

2）チラシの作成、企画面の工夫

①現在 B4 版サイズのチラシ１枚を 2 週間に１回送信しているが、B4 版サイズのチラシであればファックス料金１度数(10 円)で 2 枚は送れるようなので１回２枚組で作成を計画すればよい。チラシ作成コストについてはパソコンを利用して編集委員会的なものを構成し、自分達で作成することを検討したい。また、共同チラシ以外にも個店でのチラシの送信にも積極的に取り組みたい。これも B4 サイズ２枚組１店１枚を利用し、２店で送信すれば通信費が半額で済むこととなる。

②チラシの内容も必ず特価品、目玉商品を数品いれることを検討する。さらに、掲載商品は季節的な商品、時宜に対応した商品を特に考慮する必要がある。

現在の注文状況では共同宅配システムを検討するまでに至っていないが、今後早い時期に検討に迫られるようファックス受注を充実させたい。

（3）ショッピングバス運行事業

1）乗降客数の調査結果を検討し、乗降客が少ない時間帯を再検討して平成 13 年度の運行回数を設定する必要がある。

2）町内他地区からも運行の要望が強く、町の過疎バス計画との関連についても検討する必要がある。

【関連ＵＲＬ】

日野町商工会　　http://www.hino.or.jp